

社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2017年
1月1日
第19号



忘年会

十二月は忘年会と題し、レク・行事委員の職員が、丹精込めて作った芋ぜんざいを振舞いました。大きな鍋でたくさん作って、存分に味わって頂けました。また、年末には各ユニット、それぞれ工夫を凝らし、新年のお飾りを行いました。
一階には、神社と獅子舞が登場。初詣気分を味わっていただけましたでしょうか？



新年お飾り

身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会紹介

この委員会では、職員によるご入居者様への身体拘束の原則禁止、虐待の防止、さらに、好ましい言葉遣いや、マナーについて勉強し、皆でより良いケアについて話し合い、桜園全体のケアの質の向上を目指し、日々活動しています。

あつてはならないことですが、もし身体拘束や虐待が発生した場合、定例会議とは別に、緊急会議を開き、関連部署の専門職を交え、ケアの方法の見直しを検討。当事者だけでなく、園全体の問題として取り組み、改善を行っています。

また、今年度の取り組みとして、放っておくと虐待につながるという「不適切ケア」について注目してみました。

まず、昨年五月中旬に、普段ユニットで見受けられる不適切なケア、又は、それと思われる事象について匿名で全ユニット職員にアンケートを実施しました。たとえば、ノックを忘れて居室に入ってしまう等、職員のうっかりした不適切なケアを見かけたり、自分でしてしまった事を正直にあげてもらいました。すると、二百種類ほどの回答があり、大体が言葉や対応で「つい」出てしまうようなものですが、中には職員として好ましくない物もありました。集計したものは委員会を通して各ユニットに配布し、全職員に目を通してもらっています。

また、十一月からは集計した中から「各ユニットで見受けられる不適切なもの」をユニット毎にそれぞれ三つずつピックアップしてもらい「つい出てしまった時に反省し、行動を改める自己意識を持つよう」実践してもらっています。今後も定期的に、ピックアップする項目を少しずつ増やしていき、実践していく予定です。

不適切ケアを防ぐことが、身体拘束や虐待を防止することに繋がっていきます。ですが、初めはきちんとしていても、どうしても時間が経つと初心を忘れてしまいがちなものです。

「慣れる」と「だれる」にならないよう、職員の「つい」を少しでも減らしていけたらと思っています。

(身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会委員長・磯山)

スタッフ紹介



藤田由美子 ユニットリーダー

今回は、五丁目一番地の藤田リーダーをご紹介します。
いつも穏やかで、笑顔を絶やさない藤田リーダーは、実はお子さんが四人もいらっしゃるママなんです。お子さんの事も聞いちゃいますよ！

★仕事の疲れを癒すのは？

五才の息子と仮面ライダーの話をする事。一緒にテレビを見ているうちに、私もファンになってしまいました(笑)。

桜園開設時、赤ちゃんだった息子さんですね！仕事との両立、本当に尊敬！上のお姉ちゃんも育児を手伝ってくれるそうです。

★好きな食べ物は？

ラーメン大好きです！

それなのに、スリムなスタイルを維持していて、うらやましい！

★とっておきのリラククス方法は？

録画したドラマを休みの日に一人でゆっくり見る事です。最近では、話題になった「逃げ恥」とか「レンタル救世主」なんかがおもしろかったです。

★最近楽しかった思い出は？

クリスマスに家族で焼肉を食べに行ったこと。子供たちが大きくなると、なかなか全員そろって食事する機会が減ってしまうのですが、この日は皆揃ってご飯を食べて、楽しかったです。

幸せな食卓ですね！これからも、仕事に育児に、がんばってください！どうぞよろしくお願ひします。

相談員より

一月二十二日(日)午前中にお隣の金町第一団地にて、毎年恒例の「餅つき交流会」が開催されます。今年も当施設から地域貢献の一環として、私も含め若い衆(?)が、参加予定です。

年末から何かと話題の「餅つき」ですが、今年はノ口対策を施したボランティアだけで進めるようです。見物は自由ですが、ぜひ冬の風物詩をお楽しみ下さい。運動不足の職員たちが奮闘する姿も見る価値あります(笑)。私もしっかりとアキレス腱を伸ばして備えたいと思います。

(相談員・末松)

十二月の倶楽部活動



十二月の書道倶楽部には、八名が参加されました。お元気なころから書をたしなむ方々は、筆を持つだけでも、元気が出る様です。また、手芸倶楽部では、二十四名が参加して、フォトフレームを作りました。皆さん持参のお気に入りの写真を、キュートなフレームで飾っていました。

フラワールアレンジメントは、今回クリスマスツリーとポインセチア、オーナメントを、豪華に飾り付けました。参加者は三十七名も来てくださって、本当にうれしかったです。

一月は、生花のアレンジメントをする予定です。楽しみにしていてください。



機能訓練指導員より

桜園ではご入居者様の寝たきりを防止し、車いすに座って過ごす時間を作ることに努めています。今月は座って過ごす事の目的や効果について説明します。

人間の体は座ることで全身の機能が活性化されます。具体的には、心肺機能、消化・排泄機能の改善、拘縮や褥瘡の予防、食事摂取の改善、活動の拡大といった効果があります。寝たきり生活を防ぎ、座って過ごすことが何よりの体の機能低下の予防になります。適切な姿勢で座っていられるよう、車いすやクッションなどで調整しています。

「車いすに座って、食事を食べる。おしゃべりをする。一緒に体操をする」これを目標に今年も機能訓練を進めていきたいと思えます。

(機能訓練指導員・伊藤)

先月のご馳走！

先月は、やっぱりクリスマスメニューが一押し！バターライスにポークソテーのリングおろしソースかけ。カラメルサラダは、さつま芋・南瓜にカラメルソースでコクと香りを引き出した逸品！家庭でも真似しなくなるメニューでした。

(管理栄養士・日下)



ユニットケアの視点

東かなまち桜園がお正月を迎えるのも、これで四回目となりました。この記事を書いているのは十二月末ですが、どのユニットもご入居者の皆様と無事にお正月を迎えられるよう色々な準備をしているのが解ります。

新しい年を迎える準備をする行為は、行為そのものがご入居者様にとっても良い刺激となります。普段では行わない特別な準備を行えば、認知症の進行で時間の流れがやや曖昧になっている方にも季節感を感じて貰えますし、お正月飾りを目で見ただけで日常とは違うワクワクした気分になれます。お正月に限らず、季節行事は記憶にも視覚にも呼び掛けるとても大切な行為です。

(介護主任・山田)

編集後記

従妹の作ったお節料理をご馳走になって、気が付いた事があります。それは、母のお節料理とそっくりだったこと。そして、私の作るお節料理とも似ていました。もとはと言えば、それは祖母の作ったお節料理の盛り付け、品ぞろえ、味付けだったのです。

今は故人となった祖母ですが、こんなところにも、祖母の遺伝子が受け継がれているのだなあと、しみじみ思いました。

皆さまのご家庭のお節料理の味は、いかがでしたでしょうか？

(平戸)

今月と来月のスケジュール

一月



- 1/11(水) 新年会 14時 地域交流室
- 1/13(金) フラワールアレンジメント 15時 地域交流室
- 1/14(土) 書道倶楽部 14時 地域交流室
- 1/20(金) 園児交流会 14時 5階光廊下

二月

- 2/3(金) 節分 14時～
- 2/3(金) 書道倶楽部
- 2/10(金) フラワールアレンジメント 15時 地域交流室
- 2/17(金) 手芸倶楽部 15時 地域交流室

